

# 神村、鹿児島九州大会へ

## サッカー

### 鹿児島高校新人大会

サッカーの第39回鹿児島高校新人大会第5日は26日、鹿児島市の県立サッカー・ラグビー場で準決勝があった。3連覇を狙う神村学園は鹿児島実業に5-0で快勝。鹿児島は松陽を2-0で下して初の決勝進出を決めた。神村と鹿児島は九州大会（2月・宮崎県）に出場する。

神村は前半14分、MF丸のCKで先制すると、左サイドを起点にFW新田とMF和田が2点ずつ奪った。鹿児島は前半4分、CKからFW有木が先制。後半は反撃を受けたが、途中出場のFW佐藤が追加点を奪った。

決勝は27日午前11時から県立サッカー・ラグビー場である。

### ▽準決勝

神村5(3)0鹿児島実

鹿児島2(1)00松陽

## シユート精度に差

○：公立勢で唯一ベスト4入りを果たした松陽はシユートの精度を上げられ

ず、無得点と決勝進出を逃した。

前半4分に先制されたが、GK吉村らを中心に組織的な守備で粘った。風上



【準決勝】鹿児島―松陽【前半、相手陣内に攻め込む鹿児島・横道(右)】

に立った後半はロングボールで相手陣内に押し込み、サイドからのクロスに頭で合わせるなど連続で好機をつくった。後半は相手の2倍のシユート6本を放ったものの、決定力を欠いた。MF小原は「後半に1点を先に取れたら、流れを変えられたはず」と唇をかんだ。

前チームの主力が多く残り、課題克服のために朝練習を重ねて力をつけた。DF上原は「戦える手心えはつかめた。チーム一丸となつて頂点を目指す」と、県高校総体へ気持ちを切り替えた。(下野敏幸)